

そうぞう

想像力+創造力→∞力

流山市立おおぐろの森中学校

2学年だより 7月号

令和7年7月10日発行

「出会い」の1学期

新しい仲間と出会い、初めての後輩を迎えた4月。グロースクールに向けて準備を進め、キャンプファイヤーなどの活動を通して絆を深め、また民泊体験の中で人の温かさに触れた5月。思い返すと、新たな出会いに満ちた1学期となりました。新しい環境や人に触れたとき、緊張したり、不安な気持ちになったりすることもあるかと思いますが、その出会いを楽しみ、様々なことに挑戦し、人ととのつながりをより深めることができるのが、2年生の生徒たちの強みであると感じました。

人間関係の変化は、新たな気づきや成長の機会を得ることにもつながります。中学2年生は、発達段階として自分や他者について考えを深めていく中で、自らの生き方を模索していく時期です。自ら行動を起こしたり、信頼できる人に気持ちを伝えたりすることは、自分らしいコミュニケーション力を育てる大切な一歩となります。ここでいうコミュニケーション力とは、相手の立場や気持ちを大切にしながら、自分の思いを適切に伝え、より良い関係を築いていく力のことです。

今後も、成長を見守る立場として、保護者の皆さんとともに寄り添い、サポートしていきたいと考えております。夏季休業中には教育相談もございますので、ぜひお話を伺わせてください。よろしくお願ひいたします。

6・7月の学習について

学習については、各教科、意欲的に参加し、理解を深めようと努力する姿が見られました。特に伝え合うことに楽しさを感じるようで、積極的に取り組んでいました。話し合い活動やICT機器を活用しながら、活発に互いの意見を交わしたり共有したりすることで、思考を深めていました。6月末には2学年になって初めての定期テストがありました。それぞれが目標を立て、計画的に学習を進めていました。テスト当日も、集中して目の前の問題に取り組む真剣な姿に、学習への意識の高さを感じました。夏休み明け、9月の最初の週には第2回の定期テスト、半ばには実力テストもあります。夏休みに体を休めたり、普段はできないことに挑戦したりしつつ、学習する習慣もこつこつと継続していくよう、ご家庭と協力して支援していければと思います。よろしくお願ひいたします。



総合的な学習の時間では、現在「平和学習」を行っています。6月27日に行った第1回の学習では、「平和とは何か？」について考えました。「戦争や争いがないこと」「安心・安全であること」といった、戦争がないことに重点を置いた回答のほか、「差別がないこと、平等なこと」「みんなが幸せに暮らすこと」など、戦争が起こっているかどうかによらず、そこにいる人々がどういう状態か？に注目した回答も見られました。後者は「積極的平和」と呼ばれる考え方で、戦争がないことに加え、差別や貧困、抑圧などに苦しむ人々がいない状態を目指すものです。それをふまえて考えると日本は平和といえるかどうか。この質問についても、「戦争がないから平和じゃない？」「でも、日本でも差別や貧困はあるような……。」など、地図の資料を見ながら、互いに意見を交わしていました。今後は、日本が経験した戦争についても学び、考えていきながら、最終的には未来に向けて、平和のために自分たちにできることは何か、共に考えていく予定です。今年は戦後80年ということもあり、8月ごろに各テレビ局でも戦争に関する特集番組等が放送されるようです。ぜひ、ご家庭でも話題にしていただけたらと思います。

思いやりのつぼみ・花

ボランティア委員会を中心に、「思いやりのつぼみ」と「思いやりの花」という取り組みを行いました。「思いやりのつぼみ」は、人からしてもらってうれしかったこと、「思いやりの花」は、施設や設備に関して思いやりを感じたことについて、生徒が気づいたことをカードに書き、ボランティア委員がそれらを集めて掲示しました。一部を紹介します。

<ul style="list-style-type: none">・ものを落としてしまったとき、通りすがりの人が落としたものを拾ってくれた。・横断歩道を渡るときに交通整理をしてくれていた。・転んだ時にばんそうこうてくれた。・畑仕事のやり方を優しくわかりやすく教えてくれた。・牛乳パックを整頓してくれている人がいた。・集まりから帰ったら班の人が片付けをしてくれていた。・重い荷物を持つのを手伝ってくれた。・班のメンバーが荷物を持ってくれたり、見ていてくれた。・探し物をしているときに親身になって一緒に探してくれた。・民泊先の方が笑顔で温かく迎えてくれた。	<ul style="list-style-type: none">・階段にスロープがついていた。・目が不自由な方のための点字ブロックがある。・バリアフリーのトイレがある。・館内に貸出用の車いすが置いてあったこと。・障害を持つ方や怪我をしている方が優先して停められる駐車場所があった。・エレベーターのボタンに車いすの方用のボタンがあった。・民宿の扉などに段差が少なく、通行がしやすくなっていた。・トイレの手洗い場に必ず1つ低めの場所がある。・雨の日に滑らないようにマットが敷いてあった。
--	---

